



## 父子と庭

奥沢2丁目 鈴木 仁

私は庭や植物に関心があります。今日はわが家の庭のことを少しお話ししましょう。

私共家族は、昭和26年に仙台からこの地に越して参りました。当時の庭は伝統的な日本庭園で、丸い庭石、築山、松や椿、茶室が記憶にあります。

父の恩師宮本教授は東京医科歯科大学で、研究の合間に好きな高山植物を風通しの良い屋上に沢山植えていました。父は先生の指導で庭の改造に取り組み、英国ロックガーデンの文献を読み、先生と庭石の組み方を議論しながら小堀遠州庭と英国ロックガーデンの混然とした庭に仕上げ、山野草を植え、父の故郷六日町から取り寄せた桂、いたやかえで、ぶな、こぶし等を植えて得意そうでした。一時はこまくさが咲くまでになりました。

やがて父は医業が、私は学業が多忙になるに連れ、庭は省みられなくなり50年に亘って、雑草生い茂り、樹木だけが大木に育っていきました。

昨年私は定年退職を迎え、父は高齢94歳のため入院しています。昨年夏から先ず生い茂った、木賊、どくだみ、たでと悪戦苦闘して雑草取りをしましたが、雑草は石組みの下を這っていたため、ひっくり返すと石組みは元に戻らず、昔凝り性の二人がデザインしたロックガーデンは、山好きな小生我流の山岳的石組みになってしまいました。植物も、山野草にかぎらず、園芸種も含め幅広く、気ままに植えています。庭の形になるにはなお数年を要するでしょう。

心配なことは、都会の放熱のためか昨年いたやかえでが枯れてしまったことです。残る5本の桂は何とか生き残って欲しいと願っています。皆様から、いろいろ教えて頂き、奥沢に恥じない庭に育てていきたいと思っています。



昭和36年の奥沢駅踏切の風景です。

このシリーズでは奥沢に長くお住まいの方と新しく移ってきた方々など、毎回2人の住民の方が登場し、このまちにちなんだエピソードを語っていただきます。



## 忘れ物

奥沢2丁目 長瀬 幸枝

奥沢に引っ越してから、もう十年になりました。「とに角 三つの私鉄の駅へ十分以内で行けて それぞれJRに連絡しているのよ。」と説明すると、友人は驚いた様子で、とても信じられないといった感じです。ここは大変便利な所です。その上他の町から戻り、緑が丘の駅頭に立って我が家に向かう道を歩き出すと、まず 緑の豊かさに感動してしまいます。お手入れの行き届いた左右のお宅の生垣から、大切に植えられた木々の枝が冬空にくっきりと浮かび上がり、常緑とは云え、冬とは思えない緑を豊かに湛えています。

お正月が過ぎ、まず春の魁の梅の花が咲き、続いて椿、沈丁花、辛夷、木蓮等、次々に咲き始めます。歴史を感じさせる見事な桜の木に花々が咲き揃い、そして舞い落ちる頃、この道の傍らに花びらの帯ができて上がります。夏には檜の大樹の陰に吹き寄せる風の何と涼しいこと。小鳥たちも枝から静かな道に降りて遊んでいます。憎まれ役のカラスが、繁殖期には身幅の数倍もある小枝を口にくわえて、この大樹の枝先きを目ざして舞い上がる姿が見られ、健気な鳥達の営みに心が打たれます。

秋になると、色とりどりの落葉が道に広がり、その美しさにうっとり。家に頂いて帰ることも有ります。

今は葉を落とした檜の枝に丸い籠のようなカラスの巣が三つ、夕焼けのそらにかわいいシルエットを現しています。こうして私達は、様々な変化を季節を追って楽しませて頂く幸せを、心から感謝してもしきれない気持です。

最後に、この素晴らしい道に一つ残念な事が有ります。それは道のあちこちに、ワンちゃんの忘れ物が多い事です。美しい木や花を味わいながら歩いていたら「あっ」と云う事のない様、くれぐれもお忘れ物の無いようにお願いしたいものです。

※三月八日カラスの巣は取り除かれました

●奥沢・自由が丘あたりの古い風景が写っている写真をお持ちの方はご連絡下さるようお願いいたします。

●このシリーズへの御投稿をお待ちしております。お話を聞かせ下さる方にはうかがいに参ります。

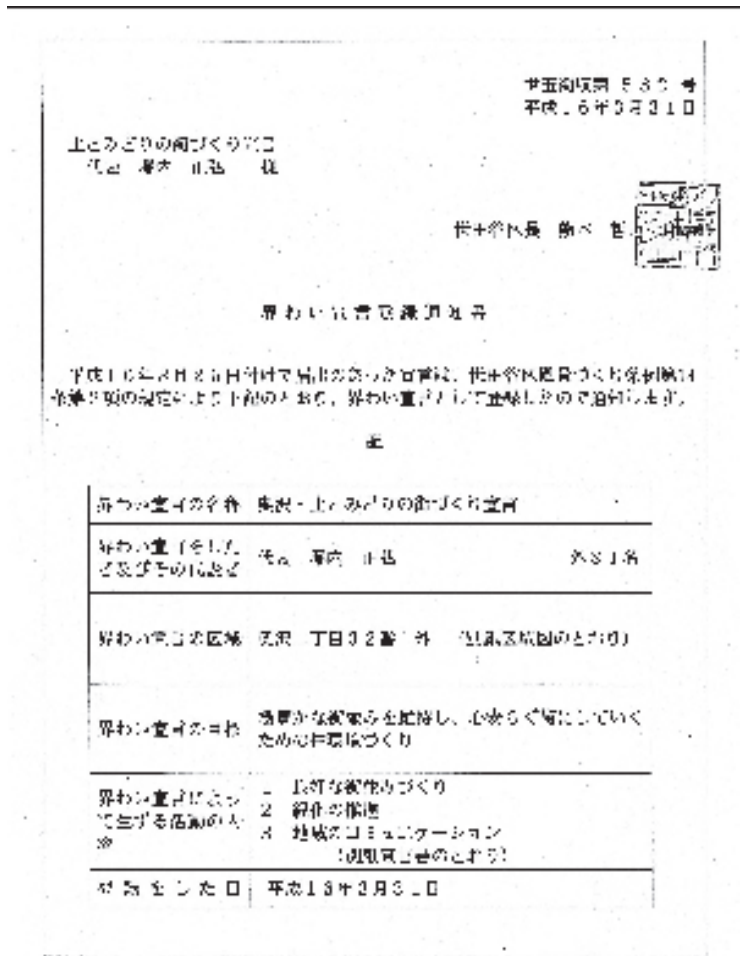
# 奥沢・土とみどりの街づくり宣言が世田谷区に登録されました。

奥沢のまちでは、土とみどりを守る会の活動がひとつの契機となり、奥沢の良好な環境を守り育てるために世田谷区の「風景づくり条例」を生かした取り組みが進められています。

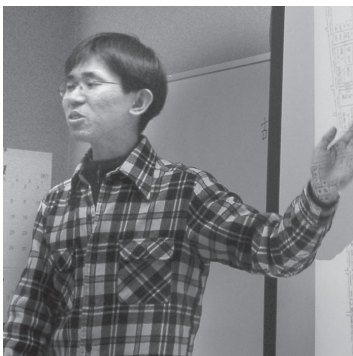
昨年秋には、奥沢二丁目の「大ケヤキのある散歩道」が区の地域風景資産として選定されました。それが契機となり、玉川総合支所街づくり課、世田谷区都市整備部街づくり推進課のサポートを得て、世田谷区の風景づくり条例に基づく具体的な仕組みづくりに、土とみどりを守る会として取り組んで参りました。その結果が実り、3月31日に「奥沢・土とみどりの街づくり宣言」が、世田谷区風景づくり条例第18条に基づく「界わい宣言」として区に登録されました。世田谷区で第一号の界わい宣言です。

宣言が区に登録されたことで、会の当初の目的である、落ち着いた住み心地の良いまちを維持していくために、今後は区と目標を共有していくことになりました。

今年度は奥沢2丁目に限定して、82人の署名が集められました。ご署名をいただいた皆さま、どうも有り難うございました。（堀内）



## 新春のつどい第2部レポート



岡寄均さん

第2部ではまず、街づくり宣言を担当している堀内正弘さんから、「大ケヤキのある散歩道」が世田谷区の地域風景資産に選定されてからの取り組みと、「風景づくり条例」に基づく手続きの進捗状況の報告がありました。そして、この日参加して下さった世田谷区都市整備部街づくり推進課の岡寄均さんは、「コミュニケーションがあってはじめて良い街ができる」と前置きして、奥沢の街づくり宣言の経過と今後の展望について次のように語りました。

「景観づくり条例」の原点は、緑が減少してきたことにあります。「界わい宣言」は「景観協定」とも呼ばれ、どんな街を作りたいかを宣言してもらいます。

法律のような強制力はないが、街づくりの良きマナーとしての合意づくりから出発します。活動の手順は、①基本となる宣言をつくる。②宣言に基づき、区役所が皆に声をかける。③スタートは狭い区域であっても、区の仕事としても将来は範囲を拡げていく。④冊子として「街づくりガイドブック」をまとめ、その費用などは区でサポートする。役所としてはすべての住民に平等の原則があるので、地域の声が弱いと支援もしにくい。現段階では、区役所に手続きなどに来た業者に街づくりガイドブックを渡し、区として街づくりの主旨を説明する義務などの点を制度化することを考えています。——と、心強いお言葉をいただきました。

奥沢交和会副会長の板谷英宣さんは、「町会との関係では、こうした運動の輪を広げるためにも、ここが子ども達の故郷なのだ、という街を愛する気持ちを育てたい。地域を愛することが、広い世界を見る土台にもなる。」と郷土愛の大切さを強調して、街づくり宣言の登録に向けた運動を激励されました。

最後に「界わい宣言」への署名を呼びかける願いがあり、新しい展望をもった楽しい新春の会を終わりました。（今井）

## グリーンサムのお庭拝見 Vol.14

自由通りの東に平行して走る静かな小径の角にお住まいの金谷さん(2丁目34)のお庭を訪ねました。

樹齢70年余のさんしゅゆの木は5mを超え黄色の花が満開です。沢山のおかめ笹が根本で風にゆれ、ベージュ色の樹皮がところどころめくれてカールし純和風のお家に何ともおしゃれな風情をそえています。垣根は、もちの木・さざんかと続き、南西の角にはくちなしが枝分かれして茂り色艶のよい葉と沢山の赤い実がとても華やかです。

枝折戸を入りますと和風ながら明るくどこかモダンな雰囲気のお庭が広がります。昭和50年に建て替えた時お庭は半分になり、さんしゅゆの木は1/3程枯れたそうです。東角・南角には異なった燈籠や石を枯山水風に配し、つつじ・くちなし・つげ等、南にはこぶしが一際高く沢山の蕾

が膨らんでいました。手前には白・淡い桃色・紅色の三本の梅が満開で甘い香りがいっぱいです。いちはずが家の近くへ移動して来たり、芝生がいつの間にか杉苔ばかりになってしまいましたと笑われます。数年前植木屋さんが柿の実をすっかり取ってくれた翌日、20羽以上ものからすが庭の木々で鳴き騒いでいたのにはびっくりしてそれ以来カラス専用だそうです。紅白のボタンは植木屋さんに今年もこもをかけてもらって冬眠中でした。

今は亡きお父様のお好みで作られたお庭、少しでも歩きやすい様大きく平たい石を並べたそうですが、お母様は一度もお庭に降りる事がありませんでしたととても残念そうに話されました。

さんしゅゆの花に魅せられてお訪ねしたお庭は想像以上に美しく凛として、金谷さんのお人柄そのもののようにでした。(立花)



## 樹と人と

推奨樹木の持ち主の方に、木にまつわる話・木への思いを語っていただくコーナーです。(毛利)

### スタジイ + 谷岸康行さん (奥沢3丁目37番地)

「この一帯は諏訪山遺跡と言われ、その一部にスタジイと我が家があります。大きなスタジイは80年以上の歴史があり、堂々たる木に成長しました。昭和39年頃はこの木に登ると富士山をながめることができましたが今はビルが建ち、残念ながら見ることはできません。大きく成長したスタジイの肥料として、庭木の落葉とぬかを混ぜて木の周辺に集めていますが、この作業は年中行事となっています。」こうした日々の努力がみごとに実を結んで、「木に登ると、ものすごい生命力を感じる」と谷岸さんはお話し下さいました。

### けやき + 平野久美子さん (奥沢2丁目40番地)

高さ約22m、幹の太さ2.5m、四方にのびる枝はおおよそ28本、樹齢は推定90年。「パークハイム自由が丘」のけやきは、道行く人にも住人にも、都会のカラスにも安息の場を与えている。豊饒な緑陰と漆黒の羽の美しいコントラストを見るたびに、この樹木から寛容さ、優しさ、忍従、たおやかさを学習おうと思う。自然の摂理にのっとって虫や鳥の命を育むけやき。「日本人にとって自然とは何かを知ることは、彼ら自身が何者であるかを認識することへと導くのである。」フランスの学者O・ベルグの言葉をけやきに重ね、次のミレニアムに向かってもっと大きくなれ、と語りかける私だ。



## 会からのお知らせ

- 5月のつどいは5月15日(土)午後1時半から奥沢東地区会館で開きます。奥沢コンサートは、2丁目在住の池内温子さんのバイオリン演奏です。おはなしは、93才で現役で活躍されていらっしゃる関誠三郎さん(2丁目在住)に「人の心・生き方、教育の問題+食の問題」について語っていただきます。当日土とみどりを守る会の総会も行います。会員の方も一般の方もどうぞお出かけ下さい。
- 土とみどりを守る会が会費の御協力をお願いして1年、お蔭様で滞りなく会を運営することができました。本年度も引き続き御協力下さいませよう、そして新しく会員になって下さる方も、どうぞ一報下さい。お伺いするか振込用紙をお送りします。

### ひょうたんの苗差し上げます

5月の連休頃に、ひょうたんの苗を差し上げます。ご希望の方は下記にご連絡ください。

毛利恵美子 世田谷区奥沢 5-11-6

TEL 03-3723-4766

編集後記： 冬と春が日替わりでやって来て桜も戸惑ったことでしょうか、ようやく春本番になりました。生垣の赤い芽ぶきも庭木のやわらかな緑色も楽しめるいい季節に、ゆっくり眺めながら歩けば身も心もリフレッシュ。奥沢土とみどりの街づくり宣言が登録されて、会も新たな前進を始めます。(Y)

### 土とみどりを守る会 連絡先

世田谷区奥沢2-19-9 長瀬雅義 5729-0126

世田谷区奥沢2-41-2 柳島尚子 3718-8558